



笠間市の学校と地域をつなぐ教育情報誌



第27号

令和4年2月7日発行

笠間市教育委員会
教育部生涯学習課

つなぐ

笠間いぬ吉
笠間特別観光大使
笠間のいぬ吉®



友部第二中 学校運営協議会の方と防災授業実施



1月9日(火)に友部第二中学校3年生と学校運営協議会の方々と、防災について考える授業を行いました。

授業では、生徒と学校運営協議会の方々とグループとなり、東日本大震災の笠間市の様子や災害時の対応についてグループで話し合いました。

当時3、4歳だった生徒たちは、震災がもたらした被害を改めて知り、今後、地域の方と協力して防災に取り組むことの大切さを学びました。

授業最後には、石巻市教育委員会・防災担当の星先生の講話「被災した時の石巻市の状況について」をみんなで視聴しました。

(詳しくは裏面で紹介)

学校運営協議会って？

笠間市では、令和3年度よりすべての学校において、コミュニティ・スクールを実施しています。

コミュニティ・スクールには、学校・保護者や地域の代表の方で構成される学校運営協議会が設けられています。

学校運営協議会では、学校運営の基本的な承認をしたり、教育活動について意見を出し合ったりします。

東日本大震災 笠間市の被害状況



笠間図書館



市役所

話し合い活動後 友部第二中生感想

水道も電気も止まって、お風呂もトイレもできなくて大変だった。

東日本大震災は震源地が東北地方の方だったので、笠間は被害が少ないかと思っていた。しかし、笠間市も断水や建物が崩壊し、思った以上に地震の影響が大きくてびっくりした。



給水(市役所)

2日間両親に会えなくて怖かった。

家に帰った後、ライフラインが全て駄目になって怖かった。家にはびびが入り、たくさんの皿が割れた。水道や電気が使えない中、地域の方たちと協力して生活していると聞いてすごいと思った。



災害クイズでは、地域の方と生徒のみなさんと協力して考えました。

防災クイズ

問1 大きな地震が起きた時に必要な物は、下の①～③のどれでしょう。

(あてはまるものはすべて)

- ① 笛 ② 10円玉 ③ スリッパ

問2 平成7年に起きた「阪神・淡路大震災」において、崩れた建物から助けられた人は、警察・消防・自衛隊等以外に誰によって助けられたと思いますか。

裏面につづく

石巻市教育委員会 星先生 動画による講話



石巻市教育委員会・防災担当 星先生

当時まだ幼かった中学生が、震災当時の様子を知り、自分たちに何ができるのかを考える学習は、大変素晴らしいものであり、将来、災害に強い街づくりに貢献できる人材を育成する素晴らしい学習活動だと思います。

地震が多い茨城と宮城、共にしっかりと災害に備えていきましょう。

石巻市の中学生は、避難所となった自分たちの学校をきれいにしたり、炊き出し・トイレ掃除等の仕事を率先して取り組んだそうです。また、中学生の元気なあいさつや笑顔により、避難所で生活する地域の方々もがんばるパワーや元気をもらったということでした。

～授業後 友部第二中生のみなさんの感想～

災害が起こった時は、地域の人たちと協力して守ることが分かった。

また、100円ショップでも防災グッズが買えることが分かった。

地域の方と一緒に東日本大震災のときの笠間市の様子を聞くことができた。

また、災害が起きたときに重要な物や安全な避難場所などを知ることが出来た。自分の身だけでなく周りの人も守れるようにしたい。

今日の授業で地震の恐ろしさを改めて理解した。当時の様子はとても大変で家族、自分一人だけじゃ無理という事がわかった。

地域の方々と協力して助け合っていきたい。

東日本大震災が起こった当時は、まだ幼くあまり覚えてはいなかったが、話を聞かせてもらって、震災について様々なことを知り、より深く考えることができた。

もし大地震が起こったときは、地域の方々を協力して乗り越えていきたい。

私は当時小さくて何もできなかったけど、私の知らないところでたくさんの方たちが協力してくださったおかげで今もこうしていられることが分かり、とても内容の濃い授業になった。

また、今日の授業で学んだことを今後に生かしていきたい。

石巻市の先生の話などを聞いて、地震や災害が起きた時に大切なことは、自分も行動することなんじゃないかなと思った。もし災害が起きた時には、自分もできることを活動をして、復興を進めたい。

私は、震災に遭った時のことは全く覚えてない。しかし、講師の方が写真やクイズ形式で教えてくれたので、大地震をより真剣に考えるきっかけになった。

地域の方から「二中は、生徒のかばんを先生が取りに行き、窓から渡す状況だった」と教えてもらった。

自分は、年の離れた妹がいるので、震災のことは何もわからないから、もしもの時には、妹のために何か安心させることができれば、いいなと思った。

答え

問1 すべて必要な時も (状況に応じて)

- ① 笛…閉じ込められた時に知るため
- ② 10円玉…公衆電話で連絡を取るため
- ③ スリッパ…裸足で逃げると危ないため

震災時の様子



問2 「近隣住民等」

近隣住民等が協力して、多くの人を助けたそうです。

日ごろから、地域の方々とのつながりがとても重要ですね。

【お問合せ先】 笠間市教育委員会教育部生涯学習課
担当 三澤
〒309-1792 笠間市中央 3-2-1
TEL 0296-77-1101 内線 384
FAX 0296-71-3220

過去のつなぐ
通信はこちら
からどうぞ→



11/9 に実施した友部第二中学校の授業の様子が、茨城新聞・読売新聞で紹介されました。

